

10月、11月に行われたイベントなどについて お知らせします

文挾町彫刻屋台落成式

旧落合支所跡地に文挾町自治会が屋台蔵を建設し、10月31日(土)に落成式を執り行いました。福田六合二自治会長は「この場所を地域の活動拠点としたい」とあいさつ。町内で募集していたこの場所の愛称「文挾宿ふるさと広場」も発表され、文挾町おはやし会の演奏が落成式を大いに盛り上げました。



テープカットと同時にシャッター
が上がってお披露目された屋台蔵



四つ葉のクローバーでは、小林さん
の伴奏で参加者が合唱♪



めだかの学校では、地元の食材
を使って50個のお弁当を調理

10月中に、多世代交流の拠点となる地域食堂が、市内2カ所にオープンしました。

9日(金)は、地域食堂「四つ葉のクローバー」が、代表の小林芳枝さんの今市(川原町)の自宅でオープン。毎月第2、第4金曜日の夕方と、第3土曜日の午前中に開催します。小林さんは「三世代が一緒に過ごし、食事の他、子どもたちの学習支援

や読み聞かせ、歌なども楽しんでほしい」とあいさつしました。

14日(水)には、子ども食堂「めだかの学校」が生きがいセンター内にオープン。毎月第2水曜日の夕方に開催します。代表の星野仁美さんは「子どもたちを中心に、夕食の他、宿題や工作遊びなどで、集まった人たちが楽しく交流できる場所にしたい」と話しました。

二つの地域食堂がオープン!!

※どちらも事前予約制で利用料が必要です。詳しくは情報ナビ28ページをご覧ください



みなも
水面に映る和傘と太鼓橋

**灯りの江戸ワンダー
ランド**

10月1日(木)～11月30日(月)、新型コロナウイルスの影響で、例年の鬼怒川公園での開催を中止し、オンライン開催となった「月あかり花回廊」の特別企画として、日光江戸村で展示が行われました。

期間中は、夜の江戸の街に和傘や絵手紙行灯が浮かび上がり、幻想的な空間が広がっていました。



神職と子どもたちのパレード滑走

**日光市霧降スケート
センターオープン**

11月3日(火・祝)、日光市霧降スケートセンターの今シーズンの営業が始まり、オープニングセレモニーとパレード滑走の後、オープン初日を記念して無料開放されました。

紅葉した木々の中、訪れた家族連れなどが、屋外リンクの感触を楽しんでいました。

初心者向けスマホ教室

市内消費活性化とキャッシュレス推進のため12月に実施するスマホ決済サービス「PayPay」によるキャンペーンを前に、10月13日から各地域で、スマホの基本操作やビデオ通話、キャッシュレス決済などを学ぶ教室を開催しました。

参加者はスマホを使いこなそうと、熱心に受講していました。



覚えれば便利なスマートフォン



英語でヨガ体験！

9/27

中央公民館中ホールで「英語でヨガ体験！」が開催されました。日本人、アメリカ人、フィリピン人が参加し、終始国際的な雰囲気で行われました。



ヨガを楽しみながら英語学習♪

提供：市国際交流協会

先生の英語と日本語によるヨガの指導が行われ、頭も体も大忙し。ヨガを通して英語の勉強や国際交流ができ、貴重な体験となりました。

消防団協力事業所表示証交付式

9/28

株式会社松本建設に消防団協力事業所表示証を交付し、消防団へのさらなる協力を依頼しました。消防団協力事業所表示制度とは、消防団員の確保や消防活動



表示証の交付を受ける松本昇代表取締役(左から2番目)

提供：消防本部総務課

がしやすい環境づくりに積極的に協力する事業所などに、その証しとして表示証の交付を行うもので、現在、市内で21事業所の協力があります。

全国老人クラブ連合会活動賞受賞

10/1

日光市老人クラブ連合会日光地区連絡協議会が、令和2年度全国老人クラブ連合会活動賞に選ばれ、^{おた}太田啓三会長、^{あらかわえいこ}荒川榮子副会長が市長への表敬訪問を行いました。



受賞報告をする太田会長(左)と荒川副会長(右)

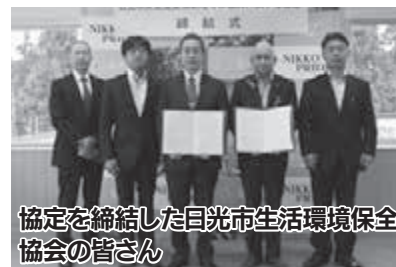
提供：高齢福祉課

他の模範となる取り組みを行っている老人クラブなどが表彰対象となっており、合併後、日光市内では初受賞となります。

「災害廃棄物処理等の協力に関する協定」の締結

10/8

市は、一般廃棄物の収集・運搬会社などで組織する日光市生活環境保全協会と、大雨や突風、台風等の災害時に発生する廃棄物の処理等について、協力して対応



協定を締結した日光市生活環境保全協会の皆さん

提供：環境課

することを目的とした協定を締結しました。

災害廃棄物処理の迅速な初動対応により、市民の生活環境の早期復旧を図ります。

日光ガス株式会社・栃木県プロパンガス商業協同組合からの寄附

10/9

日光ガス株式会社および栃木県プロパンガス商業協同組合から、新型コロナウイルス対策や市政運営に役立ててほしいと、市へ寄附金が届けられました。



日光ガスの伊藤社長(前列右)とプロパンガス商業協同組合添野代表理事(同左)

提供：秘書広報課

8月に今市ガスから社名変更をしたあいさつも兼ねて来庁した日光ガス株式会社の伊藤社長は「微力ながら協力できれば」と話しました。

日光市倫理法人会との「家庭の日」普及促進連携協定の締結

10/13

市は、日光市倫理法人会と、栃木県条例が定める毎月第3日曜日「家庭の日」の普及促進を図るため、連携協定を締結しました。ノー残業デーを実施するな



協定書を手にする自井正俊会長(左から4番目)と大嶋市長

提供：生涯学習課

ど、家族団らんの機会を創出し、家庭が果たす役割の重要性について市民の理解が深まるよう、ともに協力して取り組みを進めます。